

(報告事項)

平成30年度松本市認知症市民啓発講演会の事業報告

1 開催日時

平成31年2月3日(日) 午後1時00分～午後3時30分

2 会場

松本市浅間温泉文化センター 大会議室

3 主催

- (1) 長野県若年性認知症コーディネーター設置推進事業受託事業者
特定非営利活動法人 長野県宅老所・グループホーム連絡会
- (2) 松本市認知症施策推進協議会

4 内容

(1) 基調講演

講師 おれんじドアも～やっこなごや代表

名古屋市西区地域包括ケア推進会議認知症専門部会委員 山田 真由美 氏

演題「認知症でも笑顔のまままで」

(2) 講演

講師 社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会 名古屋市認知症相談支援センター
若年認知症相談支援担当 社会福祉士 鬼頭 史樹 氏

演題「活動がひろがる居場所づくり」

(3) 情報提供

講師 県若年性認知症コーディネーター 伝田 景光 氏

若年性認知症コーディネーターの活動について

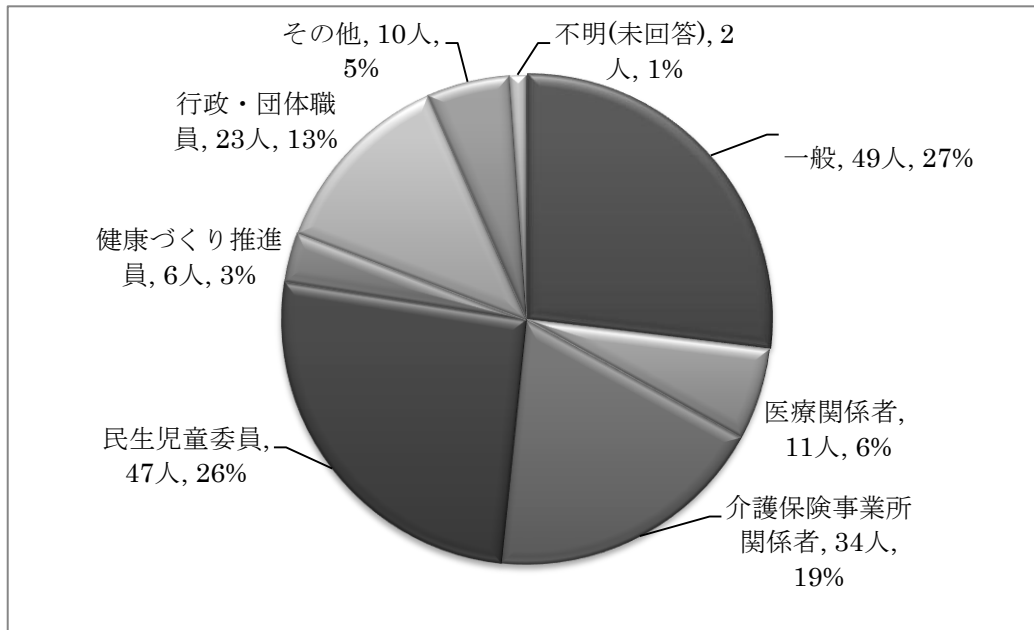
(4) その他

同日午前10時～12時には、若年性認知症当事者の本人ミーティングを行った。

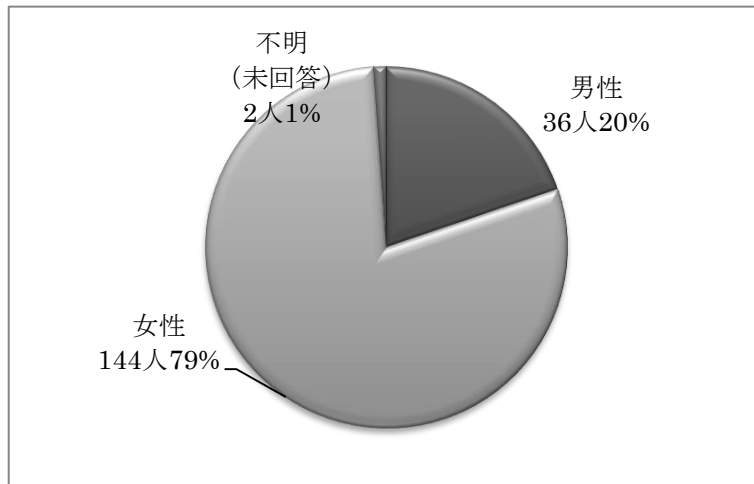
5 来場者数 270人

6 アンケート結果 (アンケート回収:182 人)

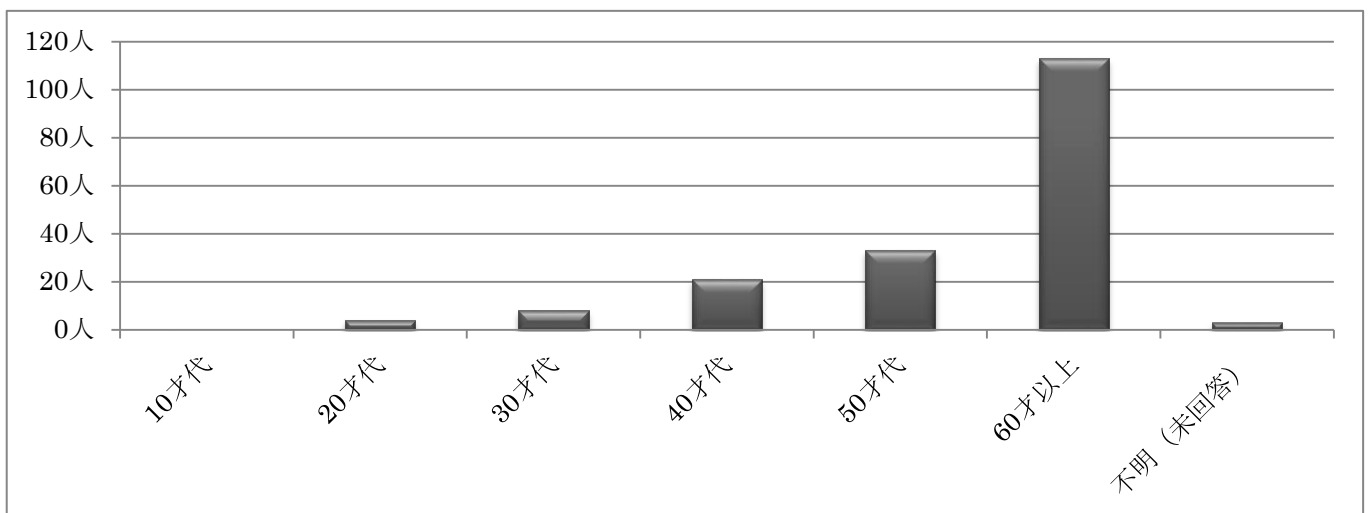
(1) 職種等



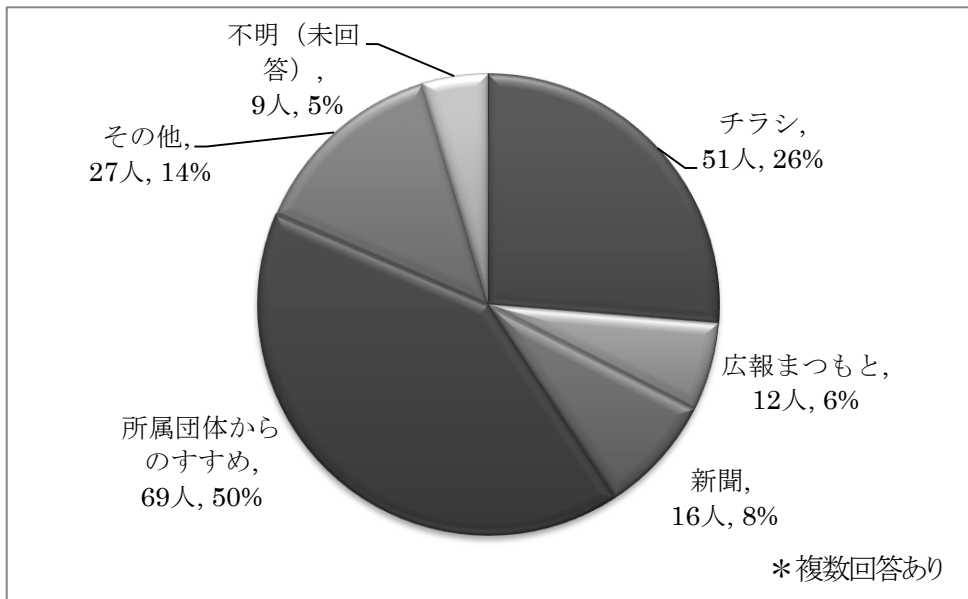
(2) 性別



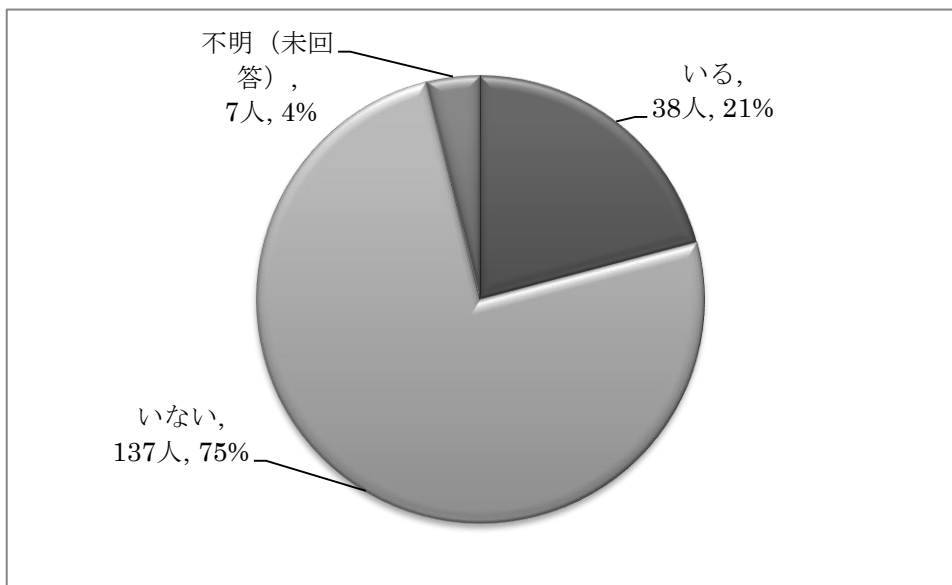
(3) 年齢



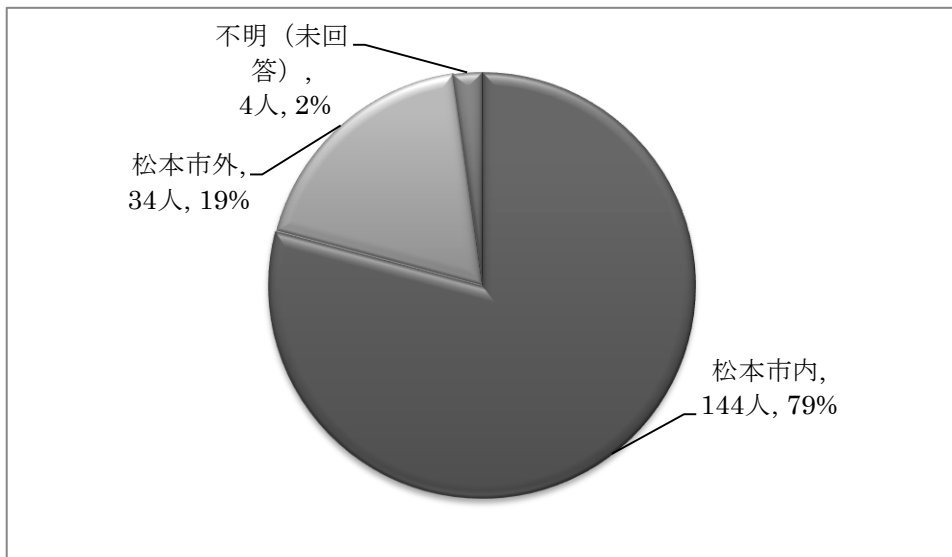
(4) 参加のきっかけ



(5) 若年性認知症の方が身近にいるか



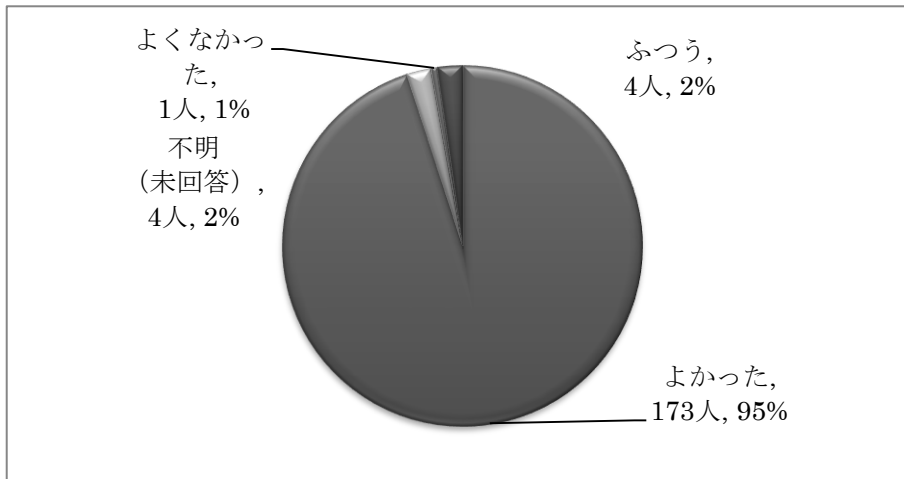
(6) 居住地



市外者

塩尻市
山形村
飯綱町
池田町
長野市
飯島町
宮田村
安曇野市
岡谷市
千曲市

(7) 基調講演(山田氏)



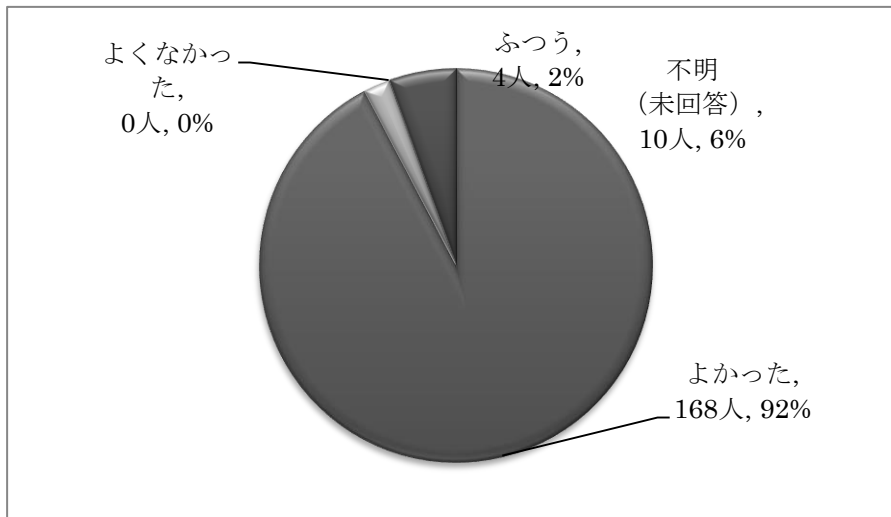
【意見】

服を着るとい行為が難しくなるということを実演していただけたことで理解しやすかった
山田さんの勇気に感謝です
認知症との付き合い方がやさしくわかった
当事者の困りごとなどが具体的にうかがえてよかった。若年性認知症の方の声はなかなかきくことができないので貴重な機会だった
具体的に生々しい実体験を知れた。着替えのことはよくわかりました。
当事者の考えがよくわかった。いろんな工夫している。
山田さんの気持ち、感情の変化を聞いてよかったです。
認知症って恥ずかしい事ではないんですね。
正直な人だと思った。
当事者の声聞いて、思いとか
本人の声は参考になった
今迄知らなかった事を目の前にできた事、お手伝いできるかな。
当人の生の声を聞く事が出来、あらためて認知症を知る事ができた。
真由美さんの前向きな姿勢素晴らしい！
着るのに時間がかかるところを実際に見せて頂いたり、経験されたお話はわかり易くてよかった。
自分から打ち明けて、前向きで生きる。素晴らしい！
当事者の想い体験を直に聴ける機会は少なく貴重な体験であった。
できることがまだまだいっぱいあるんだよと勇気がわいた。
生の声が聞けた。
当事者の方の話なのでわかりやすかった。スマホの音声を利用、着替えの大変さなど。
久しぶりに山田真由美さんの元気な姿を見て嬉しかった。元気をもらった。
当事者の声をうかがう機会が得れた。
患者本人の症状、工夫、思うことなどきけて良かった。
ちょっとした事が当人にとって大きな助けになることがよくわかった。
私認知症なのと、みなさんに知られるのはとても勇気があったかと思う。でも元気であることに感動した。
実態が少しわかった。
本人からまわりの方に伝えるということを決断するのは勇気がいっただろうと思った。
ご本人の苦勞、回りの方々のサポートの必要性、今まで聞いたことのない内容、貴重なお話を沢山聞け、参考になった。

とても明るい方でお話も上手で無理に理解せず自然にすればいいと言うことがわかった。
本人の声が聞けたから。
日々の生活の中で、できると思った具体的な気づき、工夫点がわかってよかった。
認知症当事者の声が聞けて、当事者の思いを知る事が出来て心に響いた。
良く理解出来た。いつ自分もなるかわからないと思う。
若年性認知症について良く理解ができた。
目からうろこだった。
自分を知って笑顔で生活(前向きに)を学ばせていただいた。
悩みから生きがいを感じるまでの経過が良くわかった。他人に関心を示すことの大切さが支援につながる事。
お人柄がとっても感じられた。多くの認知症の方の力になってください。まずは、御自分が楽しむことが大切なんですね。
実際の日常が見えてとてもよかった。
話し方がいまいち。合方がしゃべりすぎ。声のひびきが二人ぜんぜんちがう。わかりずらかった。
普通に声かけする事が難しい事と思っていたが、話を聞いてほしい気持ちが楽になった。
若年性認知症についてぜんぜん知らなかったことがよくわかった。
全部がわからなくなるのではなく、手伝ってもらえると出来る事が沢山ある事。
「認知症の人のサポート」とは何をしたら良いのかなど知る事ができた。
記憶障害がほとんどない認知症があると知った。パワーをいただいた。
とてもよかった。理解出来た。
何に困るかが伺えてよかった。
当事者本人からの話だったので適格に理解出来た。
私の妻の場合は76歳の為か山田さんと反対の動きであるため。
自身の体験を元に語ったから。
ご本人の口から困った内容が聞けて、また笑顔になられた経験もよくわかった。
体験の話を書く事ができ理解出来た。
当事者の気持ちが大変よくわかった。これから当事者の方と共に支え合う地域をつくっていく必要性を感じた。
本人から具体例を聞かれ納得。
御本人の話を聞けるのは貴重。当事者の話を聞いていく事の大切さを改めて感じた。
本人の話が聞く事ができたこと。
本人の気持ちがわかった。
本人の思いを本人の口から聞けた事が良かった。
当事者の声が聞けた。
私達のわからない事が知れた。
本人からの話を初めて聞いた。「やってよ」ではなく「〇〇ができない」と発信する。
鬼頭さんとの対談という形でよかったので。一人ではやはり大変でしょうから。
本人の話が聞けてとてもよかった。
障害の程度、内容等一人一人違うという事
若年性認知症の事がよくわかった。
当事者の気持ち、生活の工夫がよくわかった。
当事者の方の素直な思い考えを聞く事ができ、自分たちも元気がもたらえた。
自分から進んで話をした事。
当事者の気持ちが直に伝わってきた。

若年性認知症と診断されても、これだけ前向きに生きられて生きていけるということがすごいと思った。
当事者の気持ちがわかって良かった。
当事者のお話が聞けて目からうろこだった。ちょっとしたおせっかい、気持ちが楽になった。
当事者の実情を直接知る事ができて良かった。山田さんのマンションを見習いたい。
着替えの実演を見て、本当にできない事がわかりよかった。とてもわかりやすかった。
とてもわかりやすくすべて自分を重ねておだやかになれた。
勇気がある方で前向きだと思った。
認知症の人の気持ちが聞けた。
当事者の話を聞く機会は本当に大事だとあらためて思った。自分の病気を語る勇気に本当に感謝します。
ちょっとしたことをお手伝いすればそんなに楽になるのか！私にもできると嬉しくなった。
テレビ、新聞等では見たり聞いたりはしていたが、本人が自分におきたことを話してくれたのでよくわかった。
自然体でお話してくださったので、笑いながら聞く事ができた。
当事者の話で、生活の中の困りごとやその時の気持ちが聞けてとても参考になった。
当事者の話が具体的に聞けて本当に良かった。
認知症の症状にはいろいろある事がわかった。わかり合える仲間が大切だとわかった。
インタビュアーのマイクの使い方が悪く、よく聞こえなかった。対談の時は各人でマイクを持ったほうが良い。折角の良い話が満足に聞けなかったのは残念。
出来ることも工夫次第で豊かに。
認知症の初期の当事者の心が知る事ができて良かった。
経験が聞けて良かった。
知らないことがほんの少しだけわかった。
認知症になられた方の実際の思いが聞けた事。
御本人の言葉が聞けてよかった。
ご本人の気持ちがわかった。
当事者の方からお話を聴く事がなかったので、実際にどんなことが困っているかが聞けて良かった。
当事者が頑張っている情報を知りたいというのが新鮮だった。当事者の話で具体的なことを知れてよかった。
困っている事、ニーズを知る事ができた。
山田さんとても素敵なお方ですね。これからも人生楽しく過ごしてください。私もパートナーの一人のつもりでいます。鬼頭さんとのかけ合いも楽しかった。
今自分が考えていることに、思っていることに近く感動した。
今までできた事ができなくなる・・という事が当事者の話でよく分かった。
当事者同士の出逢いが絶対必要だと思った。すべて前向きにステキでした。
認知症の人本人からなかなか話を聞く機会がなかったので、今回このような機会があり良かった。

(8) 講演(鬼頭氏)



【意見】

サポーターではなくパートナーという表現をされていて、一方通行ではなく双方向が大事であると気づかせていただいた。

事例や実践をとおしてのお話をたくさんきけてよかった。改めて自分ができることについて考えた。

山田さんの話をわかり易く引き出してくれたと思います。活動の全体像がわかりました。

わかりやすく、進行がうまかった。

本人ミーティングについて、パートナーについて、知ることができてよかったです。

認知症の家族として、次の一步が踏み出せそうです。

話しがとても聞きやすかった。

「空白の期間」を理解しなければならない。”やりたいこと”をベースにしたい。

自分もこれから認知症になるかもしれないので、認知症に対する知識が広がり大変勉強になりました。

当事者の人たちの紹介がたくさんあってよかった。今まで気づけなかったことがわかって助けたいと思ったし、自分もそのうち助けてもらいたいとも思った。

合理的配慮が広がる松本平であってほしい。

オレンジリングの真の意味を理解できた。常に身につけていようと思う。

私もいっしょに何かできると思わせてくれた。

とてもわかりやすく考えさせられる話だった。

居心地の良い”あゆみの会”懐かしい。

とてもわかりやすく、地域でのヒントになった。

支援を求めただけでなく、できることでやったり、交流したり、本人・家族・サポーターにできる事が色々あると知った。

地域づくりの第一歩は自分で動くことが・・・が印象的。

認知症の事をわかりやすく講演して頂き、だいぶ認知症を知った。ありがとうございました。

認知症の実態をよくわかりやすく解説して下さった。

地域づくりはやりたい事探してからというのが、ハッとさせられた。

お話を聞いて認知症も個性の一つなのかと、共に楽しむことの大切さ、皆にやさしい社会づくりの大切さを感じた。

思いやりが大切でそれさえあれば人間対等につきあえる。

本人のやりたい事の実現を目指していく大切さ、一緒に地域もやっていく環境づくり、共に歩む大切さを知って良かった。

あゆみの会の活動を実際の事例を交えて話して下さり参考になった。
オレンジリングを付けて出来ることをしたいと思う。
とてもわかりやすかった。
ありがとうございました。
これからの人生を前向きに生活していこうと思った。
講演でのアシストが大変良かったこと。支援の方法を熟知しており、非常にわかりやすい説明であった。”理解出来た”企画も喜びを与えており素晴らしい活動をされている。
ありのままに自分もありのままに役に立てる事があれば立ち助けていただきたい。
山田さんとのかけ合いすばらしかった。当事者が動くことの大切さを感じた。
時間がなくすみません。役員の方ありがとう。
大変わかりやすくあらためて認識を再発見した。
とてもわかりやすい講演で良かった。
例題を使ってわかりやすく説明してくれてよかった。
地域のかかわりの方法もわかった。オレンジカフェのイメージもできた。
とても分かり易かった。
取り組み状況がわかりやすくよかった。
解りやすい語り。
とてもわかりやすい講演だった。
特に若年性に特化した症状などもっと詳しく知りたい。自立の手助けについての具体的な話をもっとあったらよかった。(はじめの一步の声掛けなど)
わかりやすく聞きやすかった。
社協職員として本当に地域に根ざした問題への取り組みの姿勢を改めて考えさせられた。
回りの人がどうゆう気持ちで接すれば良いかわかった気がする。
本人から話を上手に引き出せる話術に感心した。仲間の寄り添う心が素晴らしいと思う。
認知症という言葉が堂々と言えられる地域になりたい。
真剣に取り組んでおられる事がわかった。
自分の地域でどう支え合うか考えながら聞いていた。ヒマ？な高齢者が地域で支え合う時代になった実感。
とてもわかりやすかった。資料を見ながら確認ができた。ヘルプマーク、オレンジリングの事を知った。ありがとう。
具体的なお話でよかった。
大変大事な仕事をなさっているんですね。頭がさかります。
具体的対応がよくわかり、認知症の対応だけでなくすべての対応の基本として確認できた。
当事者の方々と関わっている生の声が聞け、これからの自分自身の行動にもとてもためになり、難しく考えずにお共に手を差しのべられるとよいなと思った。
自分がなった時にどうすれば良いかを考えさせられた。
具体的に大事なことがなんなのかがわかってきたような気がした。ヒントをもらえた。
認知症の方々とのふれあいの仕方がよくわかった。
山田さんとの掛け合いで、山田さんの思いを引き出してもらい良かった。あゆみの会の活動を通し、場作りの大切さを知る事ができた。
とてもわかりやすいお話だった。
あゆみの会の活動が素晴らしい。認知症カフェ、自分の地区ではなかなかだけど、なんとなくヒントはいただけた。

これから自分がどうすれば良いか考えてみる。
いろいろ勉強されていて、愛知県を愛するトップの方だと思った。
認知症の人との支え合う事の大事なことだと思った。
居場所づくりのポイントが詰まった内容でとても良かった。「認知症」への偏見が松本にはまだあるなど。地道な活動が大事だと思った。
中学生のソフトボールの話は、なぜか涙が出てしまった。
話をしてくれた事がよくわかってよかった。
仕事を退職したらゴリゴリのサポーターになろうとしていた。「パートナーになれる場はあちらこちらにあるな」と思った。
サポーターではなくパートナー、とても良い素敵な考えだと思った。共生社会、どんな病気になっても支え支えられる関係が定着するといいと思った。当事者のストレングスをいかにのばすかですね。
大変わかりやすかった。
具体的な例がありわかりやすかった。
簡潔でわかり易く、マイクの使い方もよく十分理解出来た。
本人忘れても友人は君のことを忘れない。
これからの地域おこしに参加する時の心構えを教えてくださいありがとうございました。
中学生達とのソフトボールの話涙が出ました。
これからの介護に関わるにあたり、目からウロコ。ありがとうございました。
わかりやすい説明だった。
わかりやすかった。
名古屋での取り組みが聞けたのでよかった。具体的に松本はこれから何ができるのだろうか・・・と考えさせられた。人のつながりに感動した。
話し方が上手で聞きやすく分かりやすかった。
鬼頭さんご自身も楽しんでいる様子でよかった。(大変なことも多いでしょうが)
人との関わり方。一緒に楽しむ。
これからはスマホなどを使う事で在宅生活が豊かになる事を知った。

(9) その他(自由記載)

本人ミーティングの復命を推進員連絡会で行ってください
姉が認知症です。困った々と思ってばかりでした。今日のお話を聞いて困ることないなあって思えたことがよかった。どうすればよいかも糸口が見えて感じがします。ありがとうございました。
あちことでこのような講演があればと思いました。当事者のことば、思いをしっかりと聞かなくては…それが新しい地域づくりになると思いました。
ありがとうございました。
今まで聞いたことのある認知症の講演とは全く違ったお話で、当事者のお話というのはとてもよいと思った。人ごとではないと思いつながりきいていた。松本市でも同じようなサポート体制ができてほしいと思った。スライドの字が少し薄かったので小さい字が見えにくかった。よつばさんと、鬼頭さんの漫才を実際に見たい。
丹野さんの講演聞きたい。私が覚えているうちに。
”あれっ?”と思った時に、診察を受けてもらうきっかけをどうしてつくってあげられるか、いつも考えている。
(参加者本人が若年性認知症)何をしてすごせばいいのか分からない。松本市の行政サービスは何があるのか?
介護保険で若年性の認知症の人をサポートしてくれるサービスがあったらいいのと思う。

やれる事があつたらやろう！認知症の方も思っているのに、健常者の第一声が得ないことに難問を覚えた。
大変楽しい講演だった。
認知症と知っていても接し方がむずかしい。
こういう話を聞きたい。
ありがとうございました。
地域ケア会議に出て、地域の役員の皆様のご苦勞を感じていたが、皆さんがまず楽しむことが大切だと認知症支援の学習を通じて感じた。
食物、飲み物、暮しかたなどによっても病気(認知症)になりますか。長生きすればするほど病気になるのか、次の機会におはなしして頂けたらと。
薬について教えてほしかった。
認知症に対する地域の理解はまだまだだと思う。活発な啓発活動の必要性を感じた。
名古屋のように松本になるには何が必要なのか。
平常と認知の境界が解らないのでどうすれば。自分から告知する事は大変難しいですね。
共に生きる鬼頭さんに拍手。あいしる県とは気づかなかつた。山田さんのご苦勞また支援の皆様は拍手。
手助けすることがメインとするが、本人のやる気、症状の進み方、などは考えてゆつくりサポートしていかなくて良いのか？少し疑問だったが、やってもらって良かった！が印象に残つた。
松本市内にどの位の人がいるのか。どうゆう直接本人へ取り組みをしているのか。
いろいろな認知症ある事は知っていたが、山田さんのお話にはおどろいた。これからもっと勉強し地域とのかかわりを持ちたいと思った。
私は地域(町会)で声掛けを始めている。今日の話聞いて、やさしい街づくりのすべてが含まれているように感じている。私の周りの参加者から、広報でも知らせてほしいとささやきあり。
やはり早期発見が理想だと思う。隠さないで認知症という事を知らせていただければ、それなりの対応ができる。当たり前と受け止めたい。松本でもこの働きが広がっていくとよいですね。
当事者の会(当事者同士が話をする決めるなどの会)は松本にもあるのか。あれば知りたい。オレンジカフェを開店している人達との交流の場を是非作ってほしい。
伝田さんのパワーポイントの資料がダイジェストでほしかった。とても字が小さくて見えなかつた(読めなかつた)。
私も少しでもお手伝いができるようにつとめたいと思う。
他社と関わる事で、自分が生きることを肯定出来る関係を共に出来たらと思う。とてもわかり易くて良かった。
山田さんのような認知症なら良いのですか？自分にあてはめると・・・
母が老後についていつも不安がつている。どう返したらいいか困っていたが、「それがどうした」と言える間柄でいたいと思った。
良いお話をありがとうございます。
市民のほとんどの人は、助けてと言われれば助けたいと思っていると思う。でも、助けてと発信できる人は少ないと思う。どうしたら気楽に助けを発信していける地域づくりができるのか知恵が必要だと思った。
今日この会場に来られた方は皆、認知症への不安が少なくなったのではないかな。
今回のお話はとてもうまくいっている例と感じた。もっとこのような取り組みや考えが広がるように、子供の教育や社会人にも広げられるような活動ができればいいと思う。
あまりにも知らないことが多い。もっと話を聞くチャンスが欲しい。
インフルエンザの流行のピークの時期なので、他の時期の検討してはいいかがでしょうか。伝田さんの話の資料もあればよかったです。

